

ご自由にお持ち帰り下さい



特定医療法人
アガペ会



日本医療機能評価機構
第JC423号 認定病院



wakamatsu
dayori

若松
だより



在宅生活での 自己実現を目指して

- 在宅超強化型老健として 2
- 北中城若松病院 第1病棟の取り組み「ハッピーウェディング」..... 3
- こころのサプリメント・・命どう宝と平和 4
- Medeical Healthy Recipe・・簡単！フライパンで作れるスイートポテト・・4
- 70才以上の方の高額療養費の上限額が変わりました 5
- 手づくり水族館 5
- 宜野湾市老人福祉センターの紹介 6
- 地域医療包括ケアセンター 理念 6



玉榮沙織（職員）作

在宅生活での自己実現を目指して

～訪問介護サービスにおける生きがい作り～

地域医療包括ケアセンター 介護課長 當眞 嗣人／センター長 涌波 満



介護保険サービスの一つに訪問介護サービスがあります。訪問介護サービスには、自宅に訪問し、食事・入浴・排泄など直接身体に触れる身体介助、掃除・洗濯・調理などの家事面における生活援助、通院時の外出移動サポートなどがあり、利用者が自宅にいても自立した日常生活を送れるよう支援することを目的としています。この訪問介護サービスを主に提供しているのは訪問介護事業所（ヘルパーステーション）と小規模多機能型居宅介護事業所の2つです。

訪問介護事業所は皆さんもよくご存じのヘルパーさんが勤務する事業所です。一方、小規模多機能型居宅介護事業所は、一つの事業所で「通い」「泊り」「訪問」の3つのサービスを提供しており、在宅で複数のサービスを利用する方には非常に有効な施設です。概ね中学校区に一つ指定され、地域密着型サービスともいわれています。

これらの訪問介護サービスは、自分自身で出来ない事を補うサービスというイメージが強いと思います。例えば、「お風呂に一人では入れないので入れてもらう。」「食事を作れないので調理をお願いします。」などです。しかしながら、本来の目標は「出来ない事を補う事でその方の生活がより良くなること」です。

例えば、料理を作ることが好きだった方が、障害を思い、料理を作ることが出来なくなったとしても、料理をしたいという気持ちを重視し、支援して、出来る範囲ではありますが、自分で料理することで生活の質を良くするのです。具体的な事例を通して、説明したいと思います。

【事例1】 Aさんは、料理が好きでしたが、障害により出来なくなりました。ヘルパーさんの調理で食事を摂ることは問題ありませんでした。しかし、ある日雑談の中で、料理や調理の話になると生き生きとして話をされている事に気付いたヘルパーは、ケアマネジャーと相談し、訪問リハビリを入れて、調理が出来る為の訓練プログラムを作ってもらいました。ヘルパーさんが付添いながらその訓練に取り組むようになり、調理の一部の作業が出来るようになりました。障害により調理を諦めていたAさんですが、自分が調理した食事を食べるという夢を実現できました。

【事例2】 Bさんは、小規模多機能型居宅介護事業所を利用されていました。自力で食事が摂れない状況で在宅では家族が食事の介助を行っていました。しかし、家族の方も高齢で食事介助も出来なくなり、通所で食事を摂ることが多くなりましたが、通所での食事はあまり楽しそうに見えませんでした。話を聞くと食事はやはり自宅でゆっくり食べたいとの事でした。そこで、自宅で食事を食べる場合の課題を探ると、ベッド上での身体の不安定さと車椅子からベッドへの移乗が困難なことが分かりました。スタッフが自宅に訪問する回数を増やし、家族への介護技術指導を行いました。その結果、ご家族と一緒に、楽しい自宅での食事が出来るようになりました。

在宅生活において「補うだけのサービス」ではなく、「利用者の個々の生きがいを実現できるためのサービス」を目指して、訪問介護サービスに今後も取り組んでいきたいと思えます。

在宅超強化型老健として



若松苑リハビリ課 副主任 中川 賢司

若松苑では、施設生活そのものをリハビリテーションと考えています。病気や怪我などで身の回りのこと（起きる、乗る、立つ、歩く、トイレなど）を自分でする事が困難になった方が、再びその人らしく生活できるようスタッフ一同でサポートします。



専門性を活かしたリハビリテーション

リハビリテーションスタッフ（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）がそれぞれの専門性を活かしたリハビリを行い、利用者をサポートします。自らの力で起き上がり、立ちあがり、歩くこと。このような基本的な動作ができるようにリハビリやアドバイスを行っています。

歩行器や平行棒、訓練用階段などを使用したトレーニングや、周囲の緑を眺めながらの

屋外歩行練習を楽しく行い体力づくりができる環境を整えています。また、作業活動・園芸・回想・ゲームなどを通し、脳の活性化を図りながら、暮らしの中で生きがいを探すお手伝いをします。

リハビリスタッフと個別リハビリをマンツーマンで実施し目標達成できるよう一緒に取り組んでいきます。（入所後3ヶ月間は最大週6回の実施が可能です。）

在宅超強化型老健

今年度からは、「在宅超強化型老健」としての取り組みをスタートし、リハビリスタッフを増員して、全入所者に週3回の個別リハビリを実施しています。在宅に向けての取り組みとして「担当者会議」「自宅訪問」「家族力

ンファレンス」を充実させています。自宅へ退所するまでに、自宅環境を整え、ご家族に介助方法を指導し、動作方法を利用者本人に指導練習することで安全に自宅退所ができるよう取り組んでいきます。

北中城若松病院 第1病棟の取り組み

ハッピーウェディング

第1病棟 課長 新垣 初絵

私たち第1病棟は病床数25床の一般病棟で、病院内の他の病棟や法人内外の施設、地域や急性期からの継続的な治療やリハビリを必要とする方々を受け入れています。

治療やリハビリに日々頑張っている療養者やその療養者を支えるご家族の気持ちに少しでも寄り添いたいと、第1病棟スタッフ多職種連携の元、外出・外泊支援やミニコンサートなどのイベントも行っています。

先日、お孫さんの結婚式を控えたHさんへささやかではありますが、院内礼拝堂で結婚式を執り行うことができました。体力的に結婚式に参加することが難しくなったHさんに、一緒にお祝いしたいというご家族の想いと、かわいいお孫さんの晴れ姿をみたいというご本人の想い、さらにそのご家族・ご本人の想いをかなえたいというスタッフの想いでした。みんなの想いが一つであったこともあり、午前中の面談に院内結婚式の提案をしてから、5時間後にはたくさんの関係者に囲まれた結婚式が行われました。30分ほどの短い式ではありましたがHさんのあの幸せそうな表情は忘れられません。

結婚式の準備や進行などたくさんの方の協力に感謝するとともに、今後も療養者やそのご家族に寄り添ったケアが提供できるよう第1病棟スタッフ一丸となり取り組んでいきたいと思っています。



命どう宝と平和

チャプレン室 田中 歩美

沖縄に来て初めて知った言葉の一つに「命どう宝」があります。命こそ宝という意味だと教えていただき、なんて素晴らしい言葉だろうと感動したことを覚えています。

「命どう宝」は琉球最後の国王、尚泰が残した言葉として知られています。沖縄出身の画家・作家の山里永吉氏は、戯曲で「戦させんしまち、みるくせややがて、嘆くなよ臣下、命どう宝。(戦争が終わり、平和が訪れるだろう。悲しむのはもういいから、みんな命を大切にしよう。)」と詠っています。

戦というつらい悲しい出来事があったからこそ、子や孫達につらい思いをさせたくない、平和な世の中にしていきたい、という強い思

いを感じます。

聖書には「平和をつくる者は幸いです。その人たちは神の子どもと呼ばれるから。」(新約聖書 マタイの福音書5章9節)という言葉があります。

神様も一人一人の命を宝のように大切にされます。そのために、命が大切にされる平和をつくる人は、神様と同じ心を持った人だと教えられたのです。

大切な命の関係が傷つき、失われる時、私たちは大きな悲しみがあります。その悲しみがあるからこそ、平和をつくろうとする人は、神様の子どもと呼ばれるのです。

Medical
Healthy
Recipe

秋といえば、さつまいも

老健栄養課
安里 衣千乃

暑さも少しずつ和らいできて季節は秋となりました。秋といえばさつまいもが思い浮かんだので、簡単なデザートを紹介したいと思います。

さつまいもの栄養効果としては、食物繊維が豊富、ビタミンCはイモ類トップ！抗酸化作用、美肌効果があり、カリウムも豊富で高血圧予防やむくみ防止にも。また豊富なビタミンB群とミネラルを含みダイエットの味方にもなります。

簡単！フライパンで作れる
スイートポテト

【作り方】

- ① さつまいもは2cm厚さの輪切りにし、皮を厚めにむいて水にさらす。耐熱ボウルに入れ、ラップをし電子レンジで約12～14分加熱する。
- ② 熱いうちにフォークなどでつぶし、Aを加えて混ぜる。かたさをみながら牛乳を加え、8等分し丸める。
- ③ フライパンにサラダ油をなじませ、②を並べて全体をこんがり焼き、シナモンパウダーをふりかければできあがりです。

【材料・8個分】

- さつまいも ……約600g (大2本)
- 牛乳 ……大さじ1～2
- サラダ油 ……適量
- シナモンパウダー ……適量
- ① (バター大さじ2、砂糖大さじ4、塩少々)

平成30年8月より

70才以上の方の
高額療養費の上限額が変わりました

高額療養費とは、ひと月に医療機関に支払った額が高額になった場合に、定められた上限額を超えて支払った額を払い戻す制度です。
 （上限額は個人や世帯の所得に応じて決まっています）

平成30年7月までの上限額（70歳以上）				平成30年8月からの上限額（70歳以上）			
現役並み	適用区分	外来 (個人ごと)	ひと月の上限額 (世帯ごと)		適用区分	外来 (個人ごと)	ひと月の上限額 (世帯ごと)
	課税所得 145万円以上の方	57,600円	80,100円 + (医療費 - 267,000円) × 1% ＜多数回 44,400円＞		Ⅲ 課税所得 690万円以上の方	252,600円 + (医療費 - 842,000円) × 1% ＜多数回 140,100円＞	
					Ⅱ 課税所得 380万円以上の方	167,400円 + (医療費 - 558,000円) × 1% ＜多数回 93,000円＞	
					Ⅰ 課税所得 145万円以上の方	80,100円 + (医療費 - 267,000円) × 1% ＜多数回 44,400円＞	
一般	課税所得 145万円未満の方	14,000円 (年間の上限 144,000円)	57,600円 ＜多数回 44,400円＞		課税所得 145万円未満の方	18,000円 (年間の上限 144,000円)	57,600円 ＜多数回 44,400円＞
	Ⅱ 住民税非課税世帯		24,600円		Ⅱ 住民税非課税世帯		24,600円
住民税非課税	Ⅰ 住民税非課税世帯 (年金収入80万円 以下など)	8,000円	15,000円		Ⅰ 住民税非課税世帯 (年金収入80万円 以下など)	8,000円	15,000円

課税所得145～689万円(年収約370～1,160万円)の方は、窓口での支払いが高額になる場合があるため、市町村窓口にて「限度額適用認定証」の交付を申請してください。

ご不明な点がございましたらお気軽に医療事務職員、医療福祉相談員へお声かけください。

手づくり水族館

介護老人保健施設 若松苑



若松苑1階の事務所前に、水族館さながらの魚の飾りが展示されています。デイサービスの利用者と職員による共同作品で、利用者がカラフルな紐で作成した魚の小物を海の絵をバックに、一つ一つワイヤーで吊した立体感のある作品となっています。

作成した職員によると上段は海面を、下段は海の中をイメージして作成したとのこと。お見舞いの際には、若松苑事務所前に立ち寄りご覧になって下さい。



宜野湾市老人福祉センターの紹介

アガペ会では平成28年4月より、宜野湾市内の赤道と伊利原の老人福祉センターの委託管理を行っております。

老人福祉センターとは、高齢者の生活、健康等の各種相談に対応し、教養の向上及びレクリエーションや機能回復訓練を通して、健康の保持や増進を目的とした施設です。

施設の設備としてサークル活動が出来る部屋や機能訓練室、お風呂を利用することが可能です。10月からは各種講座を開設しますので、宜野湾市在住の方で新しい事にチャレンジしたい方は、是非ご利用ください。

（詳しくは宜野湾市のHPが各センターまでお問い合わせ下さい）

赤道老人福祉センター

☎893-6400



皆様、はじめまして。この4月から「赤道老人福祉センター」の館長に着任しました比嘉繁です。当センターがこれからも多くの方に、楽しく、そして利用しやすい場になるよう頑張ります。よろしくお願いします。



伊利原老人福祉センター

☎890-7131



今年4月から「伊利原老人福祉センター」の館長になりました伊波忍です。モットーは、誰にでも優しく『明るく』『楽しく』『前向きに』笑顔で接することです。目標は、サークル活動の活性化と伊利原便りの発行、環境美化を頑張りたいと思います。



地域医療包括ケアセンター 理念

医療と福祉で 地域にくらす人達の 充実した人生のために貢献する

地域医療包括ケアセンター 事業所		
①ファミリークリニックきたなかぐすく	⑦グループホーム わかまつ	⑬デイサービス 若松 ぎのわん
②訪問リハビリテーション	⑧小規模多機能ホーム 若松 きたなかぐすく	⑭小規模多機能ホーム 若松ぎのわん
③通所リハビリテーション きたなかぐすく	⑨デイサービス きたなかぐすく	⑮宜野湾市地域包括支援センター ふてんま
④ケアプランステーション ゆい	⑩ケアホームアガベ アガペファミリーエ	⑯新オレンジサポート室
⑤訪問看護ステーション 若松	⑪ファミリーデイサービス アガベ	⑰宜野湾市赤道老人福祉センター
⑥ヘルパーステーション 若松	⑫グループホーム 若松 ぎのわん	⑱宜野湾市伊利原老人福祉センター

それぞれの施設が個性を持って、在宅や地域の方々を支えています。



アガペ会理念

アガペに生かされ、アガペに生きる

わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい（聖書 ヨハネ福音書13章34節）

北中城若松病院

〒901-2395 沖縄県北中城村字大城 311
☎/098-935-2277 FAX/098-935-2272

- ・一般病棟 ・回復期リハビリ病棟
- ・認知症治療病棟 ・特殊疾患病棟
- ・認知症デイケア あしやぎ
- ・認知症疾患医療センター ☎/098-975-6122

介護老人保健施設 若松苑

〒901-2314 沖縄県北中城村字安谷屋 327
☎/098-935-5858 FAX/098-935-5807

- ・入所療養介護
- ・短期入所療養介護
- ・若松苑デイサービス

地域医療包括ケアセンター

複合型高齢者施設 ふれあいの里 若松

〒901-2311 沖縄県北中城村字喜舎場 360-1

- 3F サービス付高齢者住宅 アガペファミリエ
- 2F 住宅型有料老人ホーム ケアホーム アガペ
ファミリーデイサービス アガペ
- 1F ファミリークリニックきたなかぐすく
- 通所リハビリテーションきたなかぐすく ☎/098-982-0717
- 訪問看護ステーション若松 ☎/098-935-5818
- 訪問リハビリテーションきたなかぐすく ☎/098-923-3154
- ヘルパーステーション若松 ☎/098-935-5202
- ケアプランステーション ゆい ☎/098-935-3066・098-935-5968
- 地域医療包括ケアセンター事務所 ☎/098-935-3093
クリニック以外の事業所のFAXは098-935-5855（共通）

小規模多機能ホーム若松 きたなかぐすく

〒901-2316 沖縄県北中城村字安谷屋 1346 番地 1（1F）
☎/098-982-0181 FAX/098-982-0183

デイサービス きたなかぐすく

〒901-2316 沖縄県北中城村字安谷屋 1346 番地 1（2F）
☎/098-935-5343 FAX/098-923-1168

グループホームわかまつ

〒901-2314 沖縄県北中城村字大城 418-2 ☎/098-935-1021

グループホーム若松 ぎのわん

〒901-2201 沖縄県宜野湾市新城 1-20-6
☎/098-892-5104（グループホーム） FAX/098-892-5111
☎/098-892-5105（デイサービス）（両施設共有）

小規模多機能ホーム若松ぎのわん

〒901-2206 沖縄県宜野湾市愛知 2-3-2
☎/098-892-1673 FAX/098-943-1085

宜野湾市地域包括支援センター ふてんま 新オレンジサポート室

〒901-2202 沖縄県宜野湾市普天間 1-9-3
☎/098-943-4165 FAX/098-943-4067（ふてんま）
☎/098-943-4085 FAX/098-943-4702（新オレンジサポート室）

宜野湾市赤道老人福祉センター

〒901-2205 沖縄県宜野湾市赤道 1-5-17 ☎/098-893-6400

宜野湾市伊利原老人福祉センター

〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐 4-3-17 ☎/098-890-7131

<http://www.agape-wakamatsu.or.jp>

※今号で使用している写真はご本人の同意を得て掲載しております